

上下：川上澄生「燈下椿花之図」1928（昭和3）年 木版多色刷 黄艶紙
中：川上澄生「静物」1928（昭和3）年 木版多色刷 紙

市制75周年記念企画展



館長プロデュース

「刷」という 実験室

2024.
1.10(水) - 4.7(日)

- 会場：鹿沼市立川上澄生美術館 2階展示室
- 開館時間：9:00～17:00（最終入館16:30）
- 休館日：月曜日（2/12は開館）、2/6[火]、2/13[火]、3/21[木]
- 入館料：一般300円（200円）／高校・大学生200円（100円）／小・中学生100円（50円）
- ※（ ）内は20名以上の団体料金、東武沿線美術館連携事業割引料金、M割引金など
- ※毎週土曜日は小・中学生無料
- ※毎月第3日曜日は鹿沼市内の中学生以下の子どもと同伴のご家族は無料
- ※障がい者手帳の交付を受けている方とその介護者1名は無料
- ※2/10[土]は第23回鹿沼ジュニア版画大賞表彰式のため無料



鹿沼市立川上澄生美術館

〒322-0031 栃木県鹿沼市睦町287-14
TEL.0289-62-8272 FAX.0289-62-8227
<https://kawakamisumio-bijutsukan.jp/>



ホームページ



X (旧Twitter)
@k_s_bijutsukan



Instagram
Kawakamisumio_artmuseum

川上澄生

「刷り」という実験室

明治期後半に起こり、1920年代に隆盛を誇った創作版画運動は、作家自らのイメージを表出させるひとつの表現手段として「版画」を芸術領域に昇華させる試みであり、作家が版画制作の工程に参与し、コントロールすることで個性・創意性を重視した作品が多く生み出されました。

下絵を描き、作家自ら版木に彫刻刀で刻む線には、筆で描く線と同様に筆跡の抑揚に身体の動きが痕跡として表れます。木版画の表現において、彫りは作家のエモーション(emotion)そのものです。

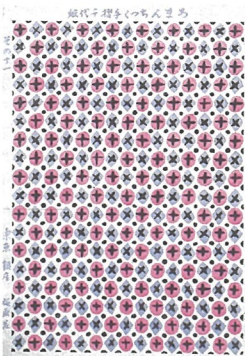
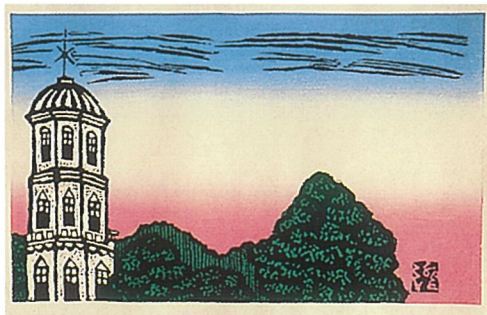
版木の刷りには、油性絵の具、水性絵の具どちらも使用しますが、長い木版画の歴史を見ても支持体に用いられる素材は彫りの形を正確に写しとることが出来る紙がほとんどであり、版の形を紙上に再現するということが主たる目的とも言えます。

しかし、澄生の木版画制作では、この刷りの工程においても刀に託した熱量はそのままに、一枚の版木から様々な素材・技法を用いて複数の印象を引き出す刷りの実験を行い、その化学反応を楽しんでいます。和紙はもちろん洋紙、艶紙、布、革、経木、絵の具が浸透しないアルミ箔にまで刷れるものにはなんにでも刷るという澄生の試みは、版画の複数性には頓着せず、独自の創作世界、版表現を展開しました。

本展では、川上澄生の多様な「刷り」を紹介し、表現の探究者としての川上澄生にスポットを当てます。どうぞ刷りの実験室で皆さまもご検証ください。



川上澄生《身体山雪景》1938(昭和13)年頃 木版二色刷 紙

川上澄生《南蛮ふり》1955(昭和30)年 木版多色刷 黄紙
川上澄生自選版画頒布会(1971年)川上澄生《聖母子A》
1938(昭和13)年
木版多色刷 紙川上澄生《るまんちゅう手摺千代紙11》
1935(昭和10)年
木版多色刷 紙川上澄生《静物(夜の洋燈)》
1930(昭和5)年頃 木版多色刷 紙川上澄生《女と洋燈》
1959(昭和34)年 木版多色刷 アルミ箔

川上澄生《風の塔》1966(昭和41)年 木版多色刷 紙

関連イベント ※申込不要。要企画展チケット

① 館長と楽しむ作品鑑賞会

日 時:1月20日[土] 14:00~14:30

② 伝統木版画摺師による実演と技法解説

主 催:白鷺大学教育科学研究所

日 時:2月17日[土] 13:30~15:30

実 演:岡田拓也氏(版三 浮世絵工房)

③ 版画の刷りを体験してみよう!

日 時:3月17日[日] 13:30~随時受付

講 師:齋藤千明(当館館長)

※①~③すべて2階展示室で開催。

同時開催 1階展示ホール/入場無料

■ 版画の年賀状展

会 期:1月10日[水]~2月4日[日]

■ 第26回木版画大賞受賞者 倉本早穂展

会 期:2月7日[水]~4月7日[日]

美術館事業 ※詳細については随時HP、SNS更新

■ 第23回鹿沼ジュニア版画大賞展

会 期:2月10日[土]~2月18日[日]

会 場:鹿沼市文化活動交流館 ギャラリー

時 間:9:00~17:00 ※初日は正午から開館。

■ 市民の木版画展

会 期:3月16日[土]~3月24日[日]

会 場:鹿沼市文化活動交流館 ギャラリー

時 間:10:00~17:00 ※最終日は15:00まで

※休館日は川上澄生美術館の休館日と同じです。

割引制度

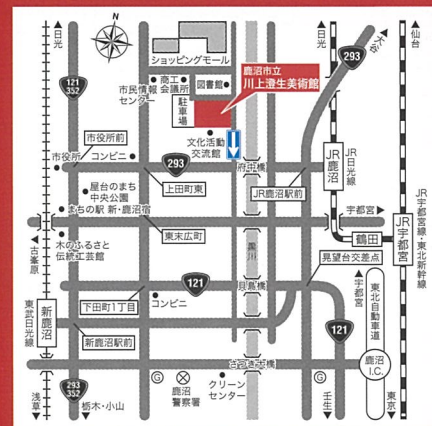
M割(ミュージアム割引)でまた行こう!

M割参加館の有料入館券(M割印刷押印あり)を持って、入館日から6か月以内に参加館に入館すると料金割引を受けられます。参加館については栃木県立博物館または当館ウェブサイトをご覧ください。
※料金割引内容は参加館によって異なります。

東武沿線美術館連携事業

下記的美術館で使用した入館券を美術館受付にご提示いただくと、入館料が割引になります。ただし、同一館での使用は対象外となります。
※料金割引内容は参加館によって異なります。

協力館(五十音順)・足利市立美術館・草雲美術館
・鹿沼市立川上澄生美術館
・小杉放電記念日光美術館
・佐野市立吉澤記念美術館
・栃木市立美術館
・栃木市立文学館



● JR日光線 鹿沼駅から徒歩20分
● 交通のご案内 東武日光線 新鹿沼駅から徒歩30分
● 東北自動車道 鹿沼 I.C. から約6km